



藤岡 緑 議員

Q. 深刻化するいじめ問題に現場は

A. いじめは犯罪であり許されないという観点で対処

いく。
いじめは犯罪であり絶対に許されない」という被害者の観点に立ち、指導、支援をし、早期解決につなげる。
更に重大な問題が発生した時は、教育委員会が主体となり専門機関と連携して解決して

問

① 学校教育の現場で、いじめ問題が発展し陰湿で悲惨な結果を出し大きな社会問題となつてている。

町内のこの問題についての対策は。

② 全国学力テストの結果から、今後の町内の児童生徒の学力向上に向けての対策は。

答 (学校教育課長)

① いじめに関して定期的なアンケート調査を実施し子どもたちをしつかり観察する。わずかな変化も把握し、教職員間の情報の共有化などでいじめの前兆を見逃さないように取り組んでいる。

「いじめは犯罪であり絶対に許されない」という被害者の観点に立ち、指導、支援をし、早期解決につなげる。

生した時は、教育委員会が主体となり専門機

関と連携して解決して

学校内の子どもたちの支援体制として教育以外に「スクールカウンセラー」「ハートなんでも相談員」などを配置し、気軽に相談できる体制も整えている。

② 平成24年度の全国学力テストの結果は、愛媛県の小学6年生は27位、中学3年生は10位だった。

県は5年内にトップテン入りを目指していく。

さらに独自の総合学力調査も行い、快適な学習環境の整備や教師への研修の充実により側面からの支援も行う。

問 高齢者の暮らしのサポート体制は

高齢者の取り巻く環境の変化に対応しながら、いかに快適に暮らしていくのか、町としての支援体制を問う。

答 地域支え合い体制づくり事業と、郵便事業会社との提携による独居高齢者の実態調査協力で、更なる支援につなげる

町長

本議会で提案した地域支え合い体制づくりは、国の施策を利用して高齢者の集まりやすい環境を整備するものだ。なってくる。本議会で提案した地域支え合い体制づくりは、連携や警察・消防などの各種団体の協力で対応している。

高齢者の相談内容が多岐にわたっても担当課の連携や警察・消防などの各種団体の協力で対応している。



町の活性化は、高齢者の笑顔から

町内の人口の約4分の1が65歳以上の高齢者で、その内一人暮らしの方が2千人、介護認定の方を除くと約千四、五百人の方々の生活実態が町として掌握しきれていない。

元気に暮らせず、問題を抱え色々な情報からも閉ざされている高齢者に対する支援が特に必要になつてくる。

情報収集とサポート体制の充実で更なる支援につなげる。

今回集会所2か所の施設充実に充てた。また郵便事業会社と契約して職員が配達業務をする傍らで、高齢者の暮らしぶりや困りごとなどをいくつかの調査項目の聞き取りなどをする。

その他質問

今日は集会所2か所の施設充実に充てた。

答 (教育長) ④ 教育長の4年間の総括と今後について

防災プロジェクトチームの中で検討したい。

教育全般について回答があつた。

答 (教育長) ④ 教育長の4年間の総括と今後について

防災プロジェクトチームの中で検討したい。

教育全般について回答があつた。